

齋藤响 さいとう びさく 漢學・法哲學者、文學・法學博士。明治二十一年一月十五日宮崎縣生れ（一九六一）。號竹城、荊園、荊棘園。大正十二年東京帝國大學文學部哲學科卒。明治大學、大東文化學院、東洋大學各教授歴任。

著書『日本漢詩・古代篇』（昭和十二年八月）『日本春陽堂書店』、『戦後の思想問題』（合著、昭和十四年九月十五日第一書房）『戦時體制版』（）、『日本文化の諸問題』（昭和十六年二月十八日朝倉書店）、『映書文化論』（合著、昭和十六年七月十五日京都・第一藝文社）『映書文化叢書』（）、『日本の世界観』（昭和十八年一月五日朝倉書店）『現代哲學叢書』（）、『大東亞共同宣言』（合著・大日本言論報國會編、昭和十九年四月十五日同盟通信社出版部）、『自殺及び殺人の哲學』（昭和二十六年四月）『二十五日雄山閣』、『漢詩入門』（昭和二十九年一月）『元々社』、『民族教養新書』（）、『われら法哲學者』（昭和二十九年九月十日元々社）『民族教養新書』（）、『要の研究』（昭和三十四年五月）『元々社』、『新鈔唐詩選』（昭和四十一年十一月）『元々社』、『コンパクト・ブックス―中国詩人選』（）、『日本国憲法の本質的文脈』（昭和四十八年六月）『日本民族学術協会』『齋藤陶法折古学シリーズ』等。

